

教科(科目)	地歴(地理B)	単位: 2	学年: 2
使用教科書	高等学校 新詳地理B (帝国書院)	副読本 COMPLETE2022	

月	単元		学習の目標(ねらい)及び内容	評価規準
	単元と項目	時数		
4	第I部 さまざまな地図と地理的技術	1章 地理情報と地図 1節 現代世界の地図	1 現代世界の地図について、さまざまな時代や種類の地図の読図などの活動を通して、各時代の人々の世界観を捉え、現代の地図や身近な地図の有用性に気づく。	<p>【関】 ・現代世界の地図について、さまざまな時代や現代のさまざまな地図の読図、地理情報の地図化などの活動を通して、現代世界の地図に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】 ・現代世界の地図について、各時代の人々の世界観、GPSやGISなど現代の地図や交通案内図など身近な地図の有用性を考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】 ・世界観の変化や現代の地図に関する諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択し、これを基に、現代世界の地図について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】 ・世界地図における各時代の人々の世界観の変化やGPSやGISなど現代の地図のしくみと有用性を理解し、その知識を身につけている。</p>
		2節 地図の種類とその利用 1 地球儀とさまざまな地図 2 時差の求め方	2 地図の種類とその利用について、球体としての地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や、時差の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技術を身につける。	<p>【関】 ・地図の種類とその利用について、地球儀を活用して、球体としての地球の特徴と地図に表現した場合の特性、時差に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】 ・地図の種類とその利用について、球体としての地球上の移動と地図上での表現の特徴や、地球の自転によって時差が生まれるしくみを考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】 ・地球儀の活用法やさまざまな図法に関する諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択し、これを基に、球体としての地球やこれを表現した地図、時差について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】 ・地球の球体としての特徴とこれを地図に表現した場合の長所短所、時差の計算法を理解し、その知識を身につけている。</p>
		3節 地理情報の地図化	2 地理情報の地図化について、地理情報の統計地図化などの活動を通して、地図の有用性に気づき、現代世界の地理的事象を捉える地理的技術を身につける。	<p>【関】 ・地理情報を統計地図化する活動を通して、地図の有用性に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】 ・地理情報を統計地図化するにあたり、どのような表現方法を用いれば適切な地図が作れるかを考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】 ・地理情報に関するデータなどの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択し、これを基に、適切な統計地図に表現している。</p> <p>【知】 ・統計地図の表現方法やその長所短所を理解し、その知識を身につけている。</p>
		2章 地図の活用と地域調査	2 地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を地形図などの地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色を捉える地理的技術を身につける。	<p>【関】 ・地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を地形図などの地図の活用と地域調査に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】 ・地図の活用と地域調査について、地形図や資料を活用した地域調査を通して生活圏の地域的特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】 ・地域調査に関するデータや地形図などに関する諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択し、これを基に、生活圏の地域調査について図表や発表用資料などにまとめたりしている。</p> <p>【知】 ・地域調査の情報収集から発表までの方法や地形図や空中写真の読図方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
5				

第II部 現代世界の系統地理的考察	1章 自然環境	8	世界の地形について、	【関】・世界の地形について、営力的な視点からさまざまな大地形、小地形、その他の地形があることの考察を基に、災害と恩恵など人間生活との関わりに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】・世界の地形について、内的営力、外的営力といった営力的な視点で分類し、大地形、小地形、その他の地形を系統地理的に捉える視点や考察方法を基に、人間生活との関わりなどを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】・世界の地形と人間生活との関わりに関するデータや写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択し、これを基に、世界の大地形、小地形、その他の地形の分布や成因と人間生活との関わりについて読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】・世界の大地形、小地形、その他の地形について、系統地理的に捉える視点や考察方法、人間生活との関わりなどを理解し、その知識を身につけている。
	1節 世界の地形		営力的な視点で分類し、大地形、小地形、その他の地形の分布や成因を考察するとともに、災害と恩恵など人間生活との関わりを考察する。	
	1 世界の大地形			
6	2節 世界の気候	10	世界の気候について、	【関】・世界の気候について、気候要素と気候因子の関係から、さまざまな気候が成り立つことの考察を基に、各気候区の特徴や農業など人間生活への影響に対する課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】・世界の気候について、気温、風、降水といった気候要素と緯度、水陸分布などの気候因子の関係から、気候の成り立ちを系統地理的に捉える視点や考察方法を基に、各気候区の分布や農業など人間生活への影響を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】・世界の気候と人間生活への影響に関するデータや写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択し、これを基に、世界の気候の特徴と農業など人間生活への影響について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】・世界の気候の成因、各気候区の特徴について、系統地理的に捉える視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識を身につけている。
	1 気候の成り立ち		気候要素と気候因子の関係から、その成り立ちを考察し、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。	
	2 世界の気候区分			
7	3節 日本の自然の特徴と人々の生活	3	日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と、これによる自然災害の特徴を理解するとともに、防災のあり方を考察する。	【関】・日本の自然の特徴と人々の生活について、日本の地形や気候が世界と比較して特徴的であること、これによって生じる自然災害も特徴的であることの考察を基に、防災のあり方に対する課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 【思】・日本の自然の特徴と人々の生活について、プレート境界に位置し内的営力によって形成された地形の特徴や大陸東岸に位置する島弧という気候の特徴から、日本の自然を系統地理的に捉える視点や考察方法を基に、自然災害の特徴やこれに対する防災のあり方を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【技】・日本の地形と気候、自然災害と防災に関するデータや写真など諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択し、これを基に、日本の地形と気候、自然災害と防災について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【知】・日本の地形と気候の特徴とこれによって生じる自然災害の特徴について、系統地理的に捉える視点や考察方法、これに対する防災のあり方を理解し、その知識を身につけている。
	1 日本の地形			
	2 日本の気候			
9	4節 環境問題	5	環境問題について、世界の環境問題の成因や	【関】・環境問題について、世界の環境問題の概要や具体的事例、日本の環境問題に関する考察を基に、環境問題に対する関心と課題意識を高め、そ
	3 日本の自然災害と防災			

	<p>1 世界の環境問題</p> <p>2 さまざまな環境問題</p> <p>3 日本の環境問題</p>	<p>特徴と対策，地域的な分布を大観し，さまざまな環境問題のうちから地球温暖化，森林破壊，砂漠化について，事例を考察する。日本の環境問題の特徴と対策について考察する。</p>	<p>れを意欲的に追究し，捉えようとしている。</p> <p>【思】・環境問題について，自然環境の学習を生かして，世界の環境問題の成因や特徴と地域的な分布を大観し，さまざまな環境問題のうちから地球温暖化，森林破壊，砂漠化についての事例や，日本の環境問題の特徴と対策について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】・環境問題とその対策に関するデータや写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に環境問題とその対策について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】・世界の環境問題の概要と対策，地球温暖化，森林破壊，砂漠化の事例，日本の環境問題の特徴と対策について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。</p>
	<p>2 章資源と産業</p> <p>1 節産業の発達と変化</p>	<p>1 産業の発達と変化について，自然環境との関わりやグローバル化の視点から考察する。</p>	<p>【関】・産業の発達と変化について，自然環境との関わりやグローバル化に関する考察を基に，産業の発達と変化に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。</p> <p>【思】・産業の発達と変化について，産業の発達は自然環境とどのように関わってきたか，またグローバル化によって産業がどのように変化しているかということを，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】・産業の発達と変化に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，産業の発達と変化について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】・自然環境との関わりやグローバル化の視点から，産業がどのように発達し変化しているかについて，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。</p>
<p>10</p>	<p>2 節 世界の農林水産業</p> <p>1 農業の発達と分布</p> <p>2 世界の農業地域区分</p> <p>3 現代世界の農業の現状と課題</p> <p>4 世界の林業・水産業</p> <p>5 日本の農林水産業</p>	<p>7 世界の農林水産業について，農業地域区分や，現代世界の農林水産業の現状と課題，及び世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。</p>	<p>【関】・世界の農林水産業について，農業地域区分や林水産業に関する分布や動向などに関する考察を基に，現代世界と日本の農林水産業に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。</p> <p>【思】・世界の農林水産業について，グローバル化が進むなかでの現代世界や日本の農業の現状と課題を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】・農林水産業の生産や分布の特徴に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，農林水産業の現状や課題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】・各農業地域の分布や特徴，世界や日本の農業の動向について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。</p>
	<p>3 節食料問題</p> <p>1 世界の食料問題</p> <p>2 さまざまな食料問題</p> <p>3 日本の食料問題</p>	<p>3 食料問題について，世界の食料需給の地域的なかたよりを大観し，発展途上国，先進国，日本についての事例を考察する。</p>	<p>【関】・食料問題について，食料需給の地域的なかたよりの不安定さに関する考察を基に，発展途上国や先進国，日本の食料問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。</p> <p>【思】・食料問題について，発展途上国や先進国，日本の食料問題の状況とその成因を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】・食料の生産と消費の地域的なかたよりに関する統計や事例などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，食料問題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】・発展途上国，先進国，日本の食料事情の動向について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。</p>
<p>1</p>	<p>4 節世界のエネ</p>	<p>3 世界のエネルギー・鉱</p>	<p>【関】・世界のエネルギー・鉱産資源について，エネルギー資源や鉱産資源</p>

1	<p>ルギー・鉱産資源</p> <p>1 エネルギー資源の利用と分布</p> <p>2 鉱産資源の分布</p>	<p>産資源について、エネルギー資源の利用と分布、鉱産資源の分布を考察する。</p>	<p>の分布や動向などに関する考察を基に、エネルギー資源や鉱産資源の利用に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】・世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの資源の特徴や利用法、分布のかたよりを、系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】・エネルギー資源や鉱産資源の生産や分布に関する統計などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、資源の生産や分布について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】・エネルギー資源・鉱産資源の種類と利用法、分布や動向などについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	<p>5 節資源・エネルギー問題</p> <p>1 現代世界の資源・エネルギー問題</p> <p>2 さまざまな資源・エネルギー問題</p> <p>3 日本の資源・エネルギー問題</p>	<p>3 資源・エネルギー問題について、現代世界の資源・エネルギー問題を大観し、世界の資源をめぐる問題、エネルギー生産や消費の抱える課題、日本の資源・エネルギー問題を考察する。</p>	<p>【関】・資源・エネルギー問題について、生産・消費の不均衡とさまざまな資源・エネルギー問題の動向に関する考察を基に、世界と日本の資源・エネルギーの利用に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】・資源・エネルギー問題について、生産と消費の不均衡や利用法の課題、石油情勢の背景やこれからのエネルギー利用のあり方を、系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】・資源やエネルギーの生産と消費に関する統計などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、資源・エネルギー問題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】・資源やエネルギーの不均衡や石油情勢、エネルギーのあり方について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
1 2	<p>6 節世界の工業</p> <p>1 工業の発達と立地</p> <p>2 世界の工業地域</p> <p>3 現代世界の工業の現状と課題</p> <p>4 日本の工業</p>	<p>7 世界の工業について、工業の発達や立地、世界の工業地域や、世界の工業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考察する。</p>	<p>【関】・世界の工業について、工業の発達や立地、工業地域の分布や動向などに関する考察を基に、世界と日本の工業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】・世界の工業について、工業の発達や立地の考え方や世界や日本の工業の現状とその背景、グローバル化が進むなかでの課題を、系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】・工業生産や地域的分布に関する統計などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、世界の工業について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】・各工業や工業地域の特色、分布や動向などについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
2	<p>7 節第3次産業</p> <p>1 第3次産業の発展</p> <p>2 世界の観光業</p>	<p>2 第3次産業について、現代世界の第3次産業の発展と、世界と日本の観光業の特色を考察する。</p>	<p>【関】・第3次産業について、現代世界の第3次産業の発展と世界と日本の観光業の特色に関する考察を基に、第3次産業や観光業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】・第3次産業について、情報化の進展と第3次産業の変化や役割、観光の国際化と多様化を、系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】・商業やサービス業、観光業の動向に関する統計などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、第3次産業の動向について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】・商業やサービス業、観光業の特色や動向などについて、系統地理的</p>

			に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。
	8 節世界を結ぶ交通・通信	2	<p>世界を結ぶ交通・通信について、交通や通信の発達による一体化と地域差を考察する。</p> <p>【関】・世界を結ぶ交通・通信について、交通や通信の発達に関する考察を基に、交通・通信や情報の一体化と地域差に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】・世界を結ぶ交通・通信について、交通や通信の発達によって、交通・通信や情報が一体化する一方で地域差も生じていることを、系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】・各種交通の運行状況やインターネットなど通信の普及に関する統計などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、世界を結ぶ交通・通信について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】・交通や通信の発達の状況や一体化の進行、地域差の拡大について、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
3	9 節現代世界の貿易と経済圏	3	<p>現代世界の貿易と経済圏について、世界貿易や経済圏の現状と課題や、世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。</p> <p>【関】・現代世界の貿易と経済圏について、貿易や経済圏の動向などに関する考察を基に、世界経済の現状や日本の貿易や経済に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>【思】・現代世界の貿易と経済圏について、多様化する貿易や貿易の地域差、経済圏と貿易のあり方を系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>【技】・世界の国家間や経済圏間の貿易に関する統計などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これを基に、現代世界の貿易と経済圏について読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>【知】・貿易に関する用語や経済圏の組織、世界の貿易の特色や動向などについて、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。</p>
	1 世界の交通網		
	2 情報と通信		
	1 私たちの生活を支える貿易		
	2 現代世界の貿易の現状と課題		
	3 日本の貿易の現状と課題		